

たむぎやま

野鳥観察会に参加して 佐藤和弘 (大谷内 重蔵)

例年に比べ、遅くなった田植え作業も一段落した六月二日、野鳥観察会が山の相川で行なわれ、私も小六の娘と参加させていただきました。早朝で高い所では朝靄もかかっていましたが次第に晴れ、絶好の観察日和となりました。

私にとっての目標は田麦山地区の象徴「オオルリ」を見ることです。途中、時折さえずる鳥の鳴き声が心地よく感じられました。初トライの私には、なかなか鳥を探すことができませんでした。が参加者の「あそこ、あそこ」という言葉に幾度か野鳥を見ることができました。無論、鳥の名は知るはずありませんが引率いただいた小出野鳥の会の先生方から、双眼鏡の正しい使い方から鳥の生態や行動など、こと細かく丁寧に教えていただきました。双眼鏡から覗く私達に鳥はなかなか正面を見せてくれませんが最後の最後に「ホオジロ」が応えてくれました。カメラがあればベストショットといったところでしょうか感動ものです。今年は昨年に比べ、確認できた鳥の数は十種類少ない二十三種類でした。これには理由があるそうです。観察時期は木々の葉があまり生い茂る前が鳥を見つけやすいことや、鳥の移動時期、求愛時期が関係するようです。

子供いわく「オオルリを見る」ことができなくてとても残念！全国的に金環日食の話題に湧きましたが、それに比べればオオルリを見る機会は身近にあると信じ、楽しみは次回に。ほとんど眠っている自前の双眼鏡が埃をかぶることも今後は少なくなりそうです。

平成 24 年
6 月 20 日 発行

新潟県
田麦山地区館



『雨の中の激走！第二十七回田麦山ロードレース大会』

渡辺智恵子 (茂兵エ)

今年の梅雨入りは例年より早く、まるでロードレース大会に合わせるかのように前日に梅雨入りした。

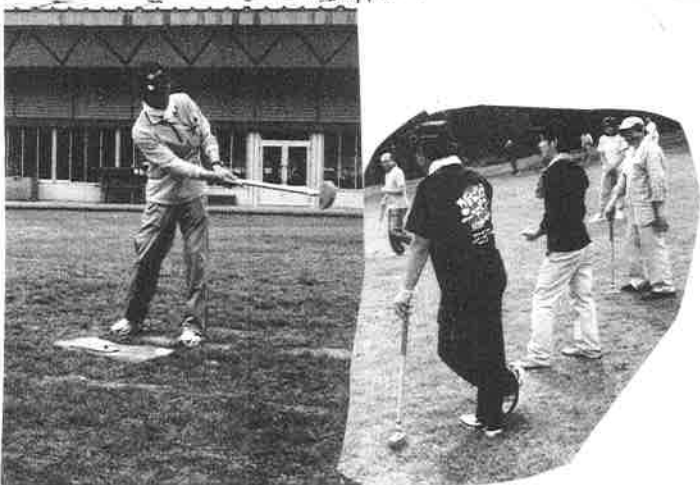
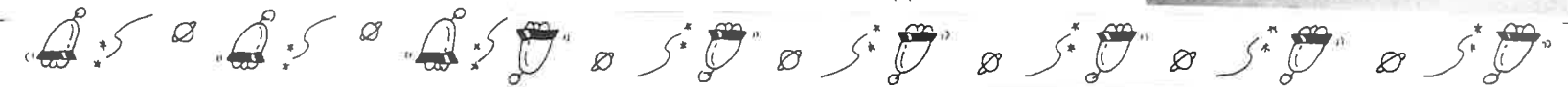
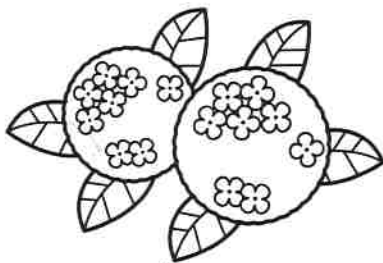
大会当日の朝、何とかもちそうかな？と思いつながらスタート合図を聞いた。と同時に空からパラパラと雨が降ってきて、しばらくすると少し激しくなってきた。強い雨は一時的なもので、その後は断続的に弱い雨が降ったものの邪魔になるほどではなかった。三百人を超えるランナー、とりわけ子供たちはそんな雨の中を意外と楽しそうに走っていた。

普段練習する時には雨が降ってれば中止するが、大会となれば大雨であってもスタートし、ゴールを目指す。雨の中を走ることは傍から見ると悪くない。何しろ普段しないことができるからだ。小さな虫も飛んでいないので走りやすい。どっちにしても汗で濡れるので洗濯物が増えるというものではない。何年かぶりに山の相川までの15キロを走った。といってもエントリーしてのタイムレースではなく、参加者の健康観察が目的の後走だったので気持ちにも余裕があり、きついアップダウンも何のその、とても楽しく走り終えることができた。いつも感じるのは沿道で応援してくださる方々がかけてくれる声の嬉しさ。自分に向けられるものではなくても嬉しい。もちろん、自分に向けられたらもう頑張るしかない。一度その味を覚えたらまた味わいたくなる。こうして私はまた走るのかもしれない。

『田麦山ロードレース』

森山賢一 (仲屋)

六月十日、第二十七回田麦山ロードレースが開催されました。自分もエントリーしていましたが、諸事情により棄権した為、裏方として参加しました。前日の準備からあいにくの雨でしたが少数精鋭で準備を進め、当日は多くの選手が健脚を競い合いました。来年は選手としても走りたいと思います。



『運動会を通して学んだこと』

小川ひなた（八右衛門）

私は小学校生活最後の運動会で学んだことがたくさんあります。

今年の運動会は統合50周年ということもありとてもせいでした。

その中で私が一番学んだことは居力する大切さです。お延練習の時、応援団がとても大きな声を出していても「がんばらなきゃ」と思い当日はがんばりました。でも当日は1年生から6年生がちゃんと声のでる心配でした。でもみんなが声のでていて白組が応援賞がもらえてよかったです。

協力すれば何にでもちよう戦できることが分かりました。とてもかんばれたのでよかったです。

今年の運動会は白組が応援の部も競技の部のどちらも優勝できてよかったです。

私はこの運動会でとてもかんどうしました。すごく楽しい運動会になれてよかったです。



小学校の運動会を観戦して

田中 笹崎 宏明

五月二十六日川口小学校の運動会が行われました。今年
は五十周年を迎える事とあって、スローガンも「歴史に
残る」などのフレーズも入り、気合いの入りが例年よ
り高かった様に感じました。当日は晴天の中応援合戦で
スタート。息の合った応援に随分と練習してきたんだろ
うなと思わせる応援ぶり。さてと、わが子はいずこ
に……小さいながらも懸命に歌っておりました。個
人競技、団体競技、親子参加の競技もありそれぞれ大変
盛り上がっていました。全員参加のリレーは中でも圧
巻でした。早い子やそうでない子も入り混じり抜きつ抜
かれつの大混戦。見ている応援者にも熱が入ります。勝
敗に一喜一憂する姿に、そのまま何事にも一生懸命な気
持ちをずっと忘れないでいて欲しいと思いました。

多々ある種目の中で一番娘が苦手としていた騎馬戦体
も大きい方ではなく騎手として出場することになってい
たが、練習の時にこてんぱんにやられていた為か苦手意
識をもっており、出場することを憂鬱に思っていた様で
す。なんとか苦手意識を軽減させる為自宅で秘密特訓を
行った結果……。二回戦ではひとつ帽子を取り最後
まで残り続ける快挙を達成。騎馬戦では白組は負けてし
まいましたが、やりきった達成感はずっと満足のゆくも
のだったと思います。運動会終了後少し体調を崩してし
まいました。子供にとつて運動会は本当に大行事なので
しょう。お疲れさまでした。



『グランドゴルフ大会に参加して』

平沢 正明（平沢）

今回のグランドゴルフは小雨がパラついてる状態での
開会式となつてしまい、皆さんの気分があまり乗らな
いスタートになりました。しかし、毎回思うことなので
すが試合が始まると最初はかなり不満を言っていた人が
一番夢中になっている気がします。

今回は少し試合進行に遅れがあり、その原因となった
「魔の9番ホール」というものが存在しました。叩けば
叩く程遠くなる様なコースで、皆さんがそこではかなり
の奇声を発して頑張っていました。常にそこでは次の組
が3組はいる状態で大変不満を言う人も居ましたが、作
った氏は「簡単だとおもくろくないだろ？」の一言で済
ませていました。

当初心配された天候もなんとか持ちこたえ、試合終了
とする事ができました。

へおくやみ

五月二七日 桜井 実 さん 七九歳

（大形 下道）

六月二日 森山 圭吾 さん 九三歳

（向山 仲屋）

謹んでご冥福をお祈りいたします。

『編集後記』

田植えも終わり田んぼの緑も日々濃さを増しています。
ロードレースも終わり梅雨の時期に入りました。雨の降
る日は心も体もちよつとひと休みしてはいかがでしょう
か。